

内 容	✚ アルボウイルスに注意！ 1
	✚ 牛の定期報告書の提出について 1
	✚ ワクチンで予防できる病気は接種の徹底を！ 2

アルボウイルスに注意を！



～ 沖縄県、鹿児島県で牛流行熱発生 ～

大家畜課 病性鑑定担当

平成27年9月～10月にかけて、沖縄県と鹿児島県で牛流行熱が発生しました。本病はウイルスによる急性熱性伝染病で、届出伝染病に指定されています。ウイルスは吸血昆虫により媒介されます。臨床症状は、突発的な発熱（1～2日で下降）、呼吸促迫、流涙、泡沫性流涎、四肢関節の浮腫、起立不能等がみられます。

近年、本病の発生は沖縄県の一部にとどまっていたが、九州以北では24年ぶりの発生となりました。九州以北での発生がなかったことから、ワクチン接種率は低い状況です。加えて、中国や台湾などでは毎年のように流行が報告されており、日本への侵入リスクは、これまで以上に高まっていると考えられます。

岩手県内での発生はありませんが、九州以南からの牛を導入する場合には、ワクチン接種の有無や導入後、一定期間隔離して観察することが大切です。万が一、疑わしい症状を発見した場合には、獣医師または家畜保健衛生所へ連絡してください。

平成22年には、岩手県で25年ぶりにアカバネ病の大発生があり、大きな損害をもたらしました。ワクチン接種が推奨されていましたが、それまで発生がなかったことから接種率が低い状況にありました。蚊やヌカカによって媒介されるアルボウイルスが関東以南の病気と油断することなく、流行前に適切なワクチン接種を行い予防しましょう。

牛の定期報告書の提出について

大家畜課 大家畜担当

牛を飼養している方は、毎年、牛の衛生管理状況等を、定期報告書に記入し、提出しなければなりません。当所では、農業協同組合をはじめ市町、農業共済組合等の協力のもと定期報告書を各飼養者に配布し、記入をお願いしているところです。平成28年は4月15日までに提出をお願いします。不明な点は当所までお問い合わせください。

ワクチンで予防できる病気は接種の徹底を！

県南家畜衛生推進協議会・大家畜課 病性鑑定担当

平成 27 年 11 月に、牛ウイルス性下痢ウイルス 2 型 (BVDV2) による牛ウイルス性下痢・粘膜病の発生がありました。BVDV2 は平成 24 年にも管内農場で流産を起こしています。本病予防のためには、牛呼吸器病 5 種混合生ワクチンに弱毒牛ウイルス性下痢ウイルス 2 型が含まれた牛六種混合(生)ワクチンが有効です。このワクチンは、平成 27 年度から特定疾病予防注射の事業対象に追加されていますので、積極的に活用し発生予防に努めましょう。

アカバネ病をはじめワクチンで予防できる病気は、接種の徹底、接種率の向上により流行を防ぐことができます。ワクチンの継続接種により免疫力を維持しましょう。

平成 28 年度に県南家畜衛生推進協議会で取り扱う各種ワクチンの接種料金は、次のとおりです。お問い合わせは県南家畜衛生推進協議会までお願いします。

平成 28 年度 特定疾病予防注射料金

	ワクチン	接種料金
家畜自衛防疫事業	牛五種・ヘモフィルス混合	2,600 円
	牛五種混合(生)	2,080 円
	牛五種混合(不活化)	1,910 円
	牛六種混合(生・不活化)	2,320 円
	牛六種混合(生)	2,220 円
	牛アカバネ病	1,920 円
	牛ヘモフィルス	1,220 円
	豚丹毒(生)	164 円
	豚丹毒(不活化)	170 円
	独自事業	日本脳炎・豚パルボ混合(生)
豚日本脳炎(生)		550 円
牛コロナウイルス(不活化)		1,200 円



編集・発行

〒023-0003 岩手県奥州市水沢区佐倉河字東館 41-1

岩手県県南家畜保健衛生所

TEL 0197-23-3531

FAX 0197-23-3593

岩手県南家畜衛生推進協議会

TEL 0197-24-5532

FAX 0197-23-6988